

数字を連続で1から10まで数える際のアクセント

京阪式アクセント（京都弁、大阪弁、神戸弁、大和弁、土佐弁、阿波弁 その他…）

—	—	—	—	※1	—	—	—	※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
いち	・	にい	・	さん	・	しい	・	ごお	・	ろく	・	しち	・	はち	・	きゅう	・	じゅう	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：よんとも言う。 ※2：ひち、ななとも言う。 ※3：くうとも言う。

（東京式アクセントと異なる部分のみ赤字とした）

東京式アクセント（東京弁、横浜弁等の首都圏方言及びテレビ共通語の場合）

—	—	—	—	※1	—	—	—	※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
いち	・	にい	・	さん	・	しい	・	ごお	・	ろく	・	しち	・	はち	・	きゅう	・	じゅう	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：よんとも言う。 ※2：ななとも言う。 ※3：くうとも言う。

東京式アクセント（テレビ共通語ベース）で連続して数える場合、

単体で発音する場合と違って全て頭高アクセントとなるのが特徴であるが、

京阪式アクセントの場合は、単体での発音に準じるのが特徴である。

参考：単体でのアクセント

京阪式					東京式					
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
いち	にい※	さん	よん	ごお※	いち	に※	さん	よん	ご※	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ろく	なな	はち	きゅう	じゅう	ろく	なな*	はち	きゅう	じゅう	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※京阪式は一文字単語も2拍で発音する傾向が強い。 *地域によってはななも